

東部丘陵開発より、「まず」くらし 熱い心で立ち向かう

谷口 公洋

日本共産党

市議員候補 元高校教員 たにぐち きみひろ



高校教員として40年

「一人ひとりの生徒と、本音で語れる人間関係を」「虐待・いじめを防ぐ」「子ども達を本当の主権者として育てる教育を」「若者が希望を持てる世の中に」その思いで教員時代を送ってきました。

社会福祉士として

定時制高校に10年間勤務してきた経験と、社会福祉士として、子ども達、高齢者・障害者に温かく優しい支援のために仕事をしたい。城陽から定時制・通信制高校に通う若者への学費や給食費などの支援を実現させたいです。

教育や学童保育充実の先頭に

「教職員の負担を減らし、子ども達に優しく寄り添える教育を」と、教職員組合の活動や教育運動に参加してきました。城陽市の学童保育保護者会連絡協議会会長、富野学童保育保護者会会長として学童保育の充実の先頭に立ってきました。

私の原点は、母の長崎での被爆体験です。母は爆心地から1・5kmの工場内で被爆し九死に一生を得ました。幼い頃から、戦争の惨禍を聞いて育ちました。そして、教員として、平和や人間の生き方について、多くの生徒達と考え続けてきました。「全ての人が人間らしく生きられる社会」の実現のために、今回、かわむら明子さんの後を継ぎ、市政に挑戦します。全力を尽くします。

私のお約束

- 産廃撤去、保安林の復旧。東部丘陵開発の中止。
- 国民健康保険料・水道料金の引き下げ。
- 介護保険料の減額。安心して受けられる介護サービスの充実。
- 小・中学校の給食費無償化。高校卒業までの医療費無料化。
- 公共交通・道路の整備、通学路・歩道の安全対策。
- 地下水の総水銀徹底調査。安全でおいしい水を守ります。
- 障がい者施設への助成の拡充。
- 家族農業応援施策の充実、獣害対策の強化。
- 中小業者への市独自の助成金・補助金制度の創設

頒布責任者：上條亮一
宇治市宇治里尻17
印刷者：(有)ニュープリント
京都市右京区西京極堤下町12-2

証紙

消費税10%増税、9条改憲の安倍政治ストップ

谷口公洋選挙事務所 城陽市枇杷庄島の宮 80-205 TEL 55-8550

国保料値下げ

水道料金引き下げ

公共交通の充実



市民の願い実現の確かな力

4人の日本共産党議員団

はっきりものを言い市政をチェック

- 文化パルクの売却撤回へ広範な方々と運動
- 命の水にかかわる東部丘陵の水銀汚染を追及
- 公共料金の値上げや福祉の切り捨てと対決

市長が「イヤ」と言っても、オール与党が否決しても がんばりぬいて、市民の願い実現

- 寺田小・久津川小の男女共用トイレの改修やトイレの洋式化実現
- 全小・中学校と富野幼稚園へのエアコンを設置
- 小学校卒業から中学3年まで子どもの医療費無料化の拡充

おかしなことは市民目線でハッキリ発言し続け、市民の前に明らかにします！

谷口 公洋

【現在】城陽市富野堀口在住。日本共産党城陽市政対策委員。社会福祉士。「京都 被爆2世・3世の会」世話人。「富野・長池9条の会」世話人。

【略歴】1954年生まれ。鹿児島県出身、早稲田大学商学部卒。国税庁国税専門官などを経て、高校教員。久御山、城陽、木津、鴨沂（定）、桃山（定）、鳥羽（定）、同志社などに勤務。南山城学園・生活支援員。城陽市学童保育保護者会連絡協議会会長、富野学童保育保護者会会長。

【趣味・特技】スキー、バイクツーリング、読書、民謡

国政でも
城陽でも

自民・公明と対決、
共同つらぬく
日本共産党

自民・公明など
市長与党

市民に負担を押し付ける 現市政に何でも賛成

東部丘陵開発や2兆1000億円の北陸新幹線の京都南部延伸など大型開発最優先で、福祉や市民サービス切りすての現市政をささえるのが自民・公明など市長与党です。

65億円の東部丘陵線道路

砂利採取業者の負担でつくることになっていた道路を市が建設。40億円としていた総事業費は65億円に。さらに増える恐れも。

文化パルク城陽

80億で売却、100億で賃借

市は、文化パルクを80億円で売却、25年間で約100億円支払って賃借する契約を締結。目的は大規模なプロジェクトを進める「資金需要」です。

高すぎる国保料に悲鳴 水道料金23%の値上げ

高すぎる国保料に市民から悲鳴があがっています。さらに追い打ちをかけるように、水道料金の23%の値上げ。

国保料や水道料金の値上げに賛成してきたのが自民党、公明党など、市長与党です。

